

社会で通じる
コミュニケーション力を。

文化×発信力

令和5年4月、総合文化学科
は「文化情報学科」へと名称
変更します。従来の文化・文学・
地域の学びに加えて、情報を
発信する力を育てます。



調べる

教室だけが
学びの場じゃない。
自分の世界を広げよう。



【しまね文化情報研修】

島根県内の指定された地域について調べ、何が起こっているのか、なぜそうなのか、と「問い」を立てます。「問い」に対する「仮説」を考え、実際にフィールドワークで検証します。現地で調べて初めてわかることもたくさんあります。この研修では、自ら問題を見つける力の必要性和、それを身につけるためのヒントが実感できます。

#フィールドワーク #地域資源
#インタビュー #アンケート



【日本の言語と文化】

なぜ緑色なのに「青信号」というのか、「じ」と「ぢ」にはどのような使い分けのルールがあるのか——私たちの身の回りにある日本語の疑問が数多くあります。そういった日本語の疑問を取り上げ、その理由を考えます。また、江戸時代の文法書を読むこと、室町時代に書かれたイソップ物語を読むことを通して日本語の分析を行います。

文化情報学科の学び

基礎科目

◆情報リテラシー

情報基礎・応用
情報処理演習
プログラミング入門・実践など



専門科目

◆文化情報プロジェクト

文化情報ゼミナール
文化情報誌制作
メディアコンテンツ制作など

◆日本と世界の文化

日本近代文学
日本文化論
英米文学など

◆言語と文化

日本の言語と文化
中国、韓国の言語と文化など

◆文化情報資源の活用

しまね文化探求
地域資源演習など

◆文化情報研修

しまね文化情報研修
海外文化情報研修など

発見する

知る

文化や社会の
あり方を追求し、



教員
藤吉 知美

興味のある分野だけでなく、未知の分野にも積極的に触れてみましょう。これまでとは違ったモノの見方ができるようになるはずです。文化情報学科の学びには、みなさんがより豊かな人生をおくるためのヒントがたくさんあります。それを見つける楽しさを、ぜひ味わってください。



教員
日高 正樹

私の専門とする社会学では、街に出てフィールドワークやICTを活用したデータ分析を行います。各分野のプロフェッショナルがそろった文化情報学科で、日常生活で感じる疑問を、一緒に学問にしましょう。



総合文化学科2年
小松原 綾乃

地域の課題を追究するフィールドワークや、文学作品の分析など幅広い内容の授業を受けています。また、卒業研究では、日常の日本語に焦点を当てて研究を行っています。皆さんの入学を心よりお待ちしております！

学科メッセージ



苦手を克服し、
社会で活躍するための
発信力を学ぼう。

【情報と社会】

情報技術や情報サービスを活用した情報発信について体験的に学びます。正しい情報を伝えることはもちろん、情報を魅力的に伝えることも情報発信のポイントです。知識・技能の習得に加え、実際に情報を発信する活動を通して情報発信力を高めていきます。

#ICT #情報発信
#マルチメディア #プレゼンテーション

#文学 #言語
#異文化理解 #歴史



未来を探ろう。

取得を支援する検定・試験

- ◆ 司書(図書)
- ◆ サービス接遇検定
- ◆ TOEIC(IP)
- ◆ ハングル能力検定
- ◆ ITパスポート
- ◆ CS検定
- ◆ 中国語検定
- ◆ 観光英語検定
- ◆ DTP検定

司書資格が取得できる
ようになります。

(令和5年4月司書養成課程開設予定)

資格科目

図書館司書に関する科目

図書館制度・経営論
情報サービス演習
しまね図書館学
図書館実習 など

卒業までに修得が
期待される知識・技能

- 島根、日本および世界の文化に関する基礎的な知識
- 情報化に対応したコンピュータの基礎的な技能
- 国際化に対応した言語の基礎的な運用能力